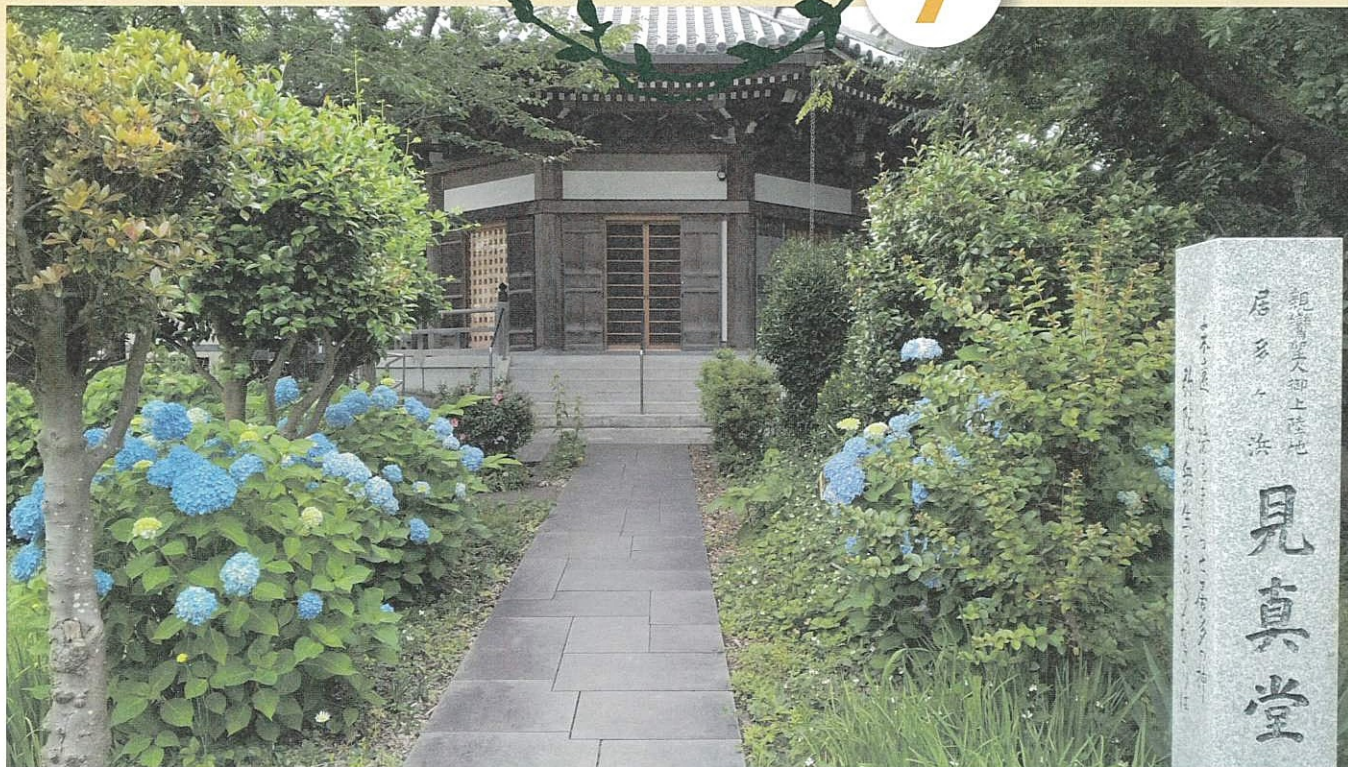


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



居多ヶ浜 見真堂(新潟県上越市)
流罪となった親鸞聖人ご上陸の地

西徳寺の予定

7月

- 5日(土) 午後2時 総代会
13日(日)～16日(水) 孟蘭盆会
(10日からお盆体制となり、新盆を中心にお参りに伺います。)
23日(水) 午後1時半 婦人会間法会
26日(土) 午後2時 定例間法会

8月

- 3日(日) 午後2時半 中央ブロック会間法会
場所:西徳寺
13日(水)～16日(土) 孟蘭盆会



※予定は変更することがあります。詳しくは寺務所までお問合せください。



7月の山門の言葉

さわりおおきに徳おおし

『高僧和讃』



今年も猛暑の夏が迫って来た。猛暑の日には冷たくて甘いかき氷が最高である。巷ではかき氷ブーム到来で、様々なかき氷が出回っている。

家庭の水道水で作る氷は白く濁っているが、市販の氷は透明である。これは空気やカルキ等の不純物が入っているかどうかの違いだそう。さらには不純物の多い氷ほど、融けるのも早く、かき氷を食べた時の頭にキーンとくる原因でもあるらしい。

親鸞聖人は和讃に、私たち人間が生まれながらに抱えている罪障(煩惱)を氷に喩えておられる。自分の思いに執着し、カチコチに固まって他を受け入れようとしめない。煩惱という不純物にまみれ、濁った私たちの在り方を氷という身近な物で教えてくださっている。

私たちは濁っていることはダメで透明が良いと思う。つまり煩惱を無くすことが大事だと考える。しかし透明の氷は光を当てると透過して、はっきりと見えなくなる。反対に不純物だらけの白濁した氷は光を当てると、氷そのものが鮮明に見える。

悩みも心配事も何もない。いっお迎えがきてもいいと思っている人には、阿弥陀仏の光は空しく過ぎていく。逆に不安や悩みが多ければ多いほど、不純物が多ければ多いほど、阿弥陀仏の光は氷を氷として、その人をその人として照らし出す。

阿弥陀仏の光は不純物を無くすはたらきではなく、不純物だらけの氷(私)であると知らせる。悩みや不安をきつかけとして、初めて私自身が明らかになる。あるがままの姿を映し出す、それが阿弥陀仏のはたらきであり功德である。

(蓮井 邦宗 記)

顧問のカレンダーに聞く

老いや病や死が

人生を輝かせてくれる

Aging, illness, and death enables life to shine.

いのちを生と死に分けて受け取ってきた人間の歴史。そこに更に老と病を加え生老病死、また更に愛別離苦・怨憎会苦・求不得苦・五蘊盛苦と、いのちを四苦八苦の苦と受け止めます。

しかしその苦で表されるのは、私が賜っておるこのいのちそのものであります。いのちが受け止めきれない私たちに、この四苦八苦を通して、「いのちに目覚めよ」と本願がはたらいているのです。この人生は私の思いが輝くものではありません。文句も言わず四苦八苦を生きて、この身このいのちが人生を輝かせてくれるのです。



住職就任祝賀会ご報告

このたびは、西徳寺住職就任祝賀会に際し、過分なるご祝意とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

去る令和7年6月1日、「東天紅・上野本店」において「西徳寺住職就任祝賀会」を無事に執り行うことができました。これもひとえに皆様方の温かいご支援とご協力のおかげと、深く感謝いたしております。

当日は、多くのご臨席を賜り、厳かな中にも和やかな雰囲気のもと、心温まる会となりました。ご多忙中にもかかわらずご出席いただきました皆様には、心より御礼申し上げます。また、残念ながらご都合がつかずご出席いただけなかった皆様にも、この場をお借りしてご報告させていただきます。

今後は西徳寺職員一同、皆様とともに西徳寺を支え、ご門徒の皆様の拠り所となるよう努めてまいります。何卒、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

西徳寺 副住職 大橋伊知郎

西徳寺本堂 令和大改修

この度の「西徳寺本堂令和大改修」への、早速のお力添え誠にありがとうございます。工事に向けての準備は進行しております。

改めて正確な図面を引くため、ドローンによる3D計測を致しました。その計測によって描かれたのが、掲載の写真です。また外観だけではなく、内部の人が入ることのできないところまで、正確に計測することが可能だそうです。

そして本堂正面の四本の向拝柱を調べたところ、鉄筋ではなく鉄骨で強度を出しているとのこと、この点でも意匠にもこだわっていたことが伺えるとの報告をいただきました。当時の最先端の技術と匠の技が見事に融合しているとのことでした。

今後とも改修に向けて、ご理解とご協力を何卒お願い申し上げます。

西徳寺住職 山崎 哲



就任祝賀会



大阪・最勝寺住職・中井賢隆様



横浜・正門寺住職・楠正憲様



責任役員総代・川村洋三様



評議員会会長・竹内乾一郎様



吉川社中様



西徳寺合唱団「エコー」



永池あかり様、新宮順子様、望月太左衛門様



花束贈呈



山崎住職挨拶



西徳寺職員一同

城西ブロック会

5月25日(日)、西徳寺「梅檀の間」を会場に「令和7年度総会・聞法会」を開催しました。総会に於きましては、昨年度の活動と新年度の予定を報告し、今後の活動が円滑に進むようご審議頂きました。

聞法会では、親鸞聖人の『正信偈』について、担当大橋と山崎住職よりお話致しました。今回は、初参加の方、また、お孫さんとお出席いただいた方もおられ、改めて貴重な時間を過ごさせていただきました。

次回は10月5日(日)を予定しております。どなたでもご参加いただけますので、大橋までお気軽にお問い合わせください。

(担当：大橋伊知郎 記)



城北ブロック会

6月15日(日)、池袋にある居酒屋、くいもの屋わんにて城北ブロック会総会・聞法会を開催いたしました。16名のご参加をいただき、総会の議案を承認していただきました。

聞法会のテーマは「煩惱に人間が使われる」。大谷顧問からは「私たちが生きる煩惱まみれの現実、その不満を縁として人生をいただき直す。この聞法会は出直しの場である。親鸞聖人も、750年後にこの居酒屋で聞法会が開かれていることを驚くだろう」と話されました。

城北ブロックのメインである懇親会も大盛り上がり。住まいも年齢も違う会員さん同士が、大いに語り合っておられました。

次回は11月16日(日)、西日暮里にて聞法会を開催する予定です。皆さまのご参加を并待ちしております。

(担当：仲井真裕 記)





坊さんのツブヤITTER

@ジュンエン



私の自坊・万因寺(新潟県出雲崎町)にて布教大会が開かれました。主催は独歩会どくふかいです。これは本山・佛光寺にて開かれた第十一回聞法推進員によるもので、編集長の仲井君もメンバーです。

いつも見慣れた本堂で全国各地から布教使が来てくださり、大変有難い時間がありました。



えこお志お礼

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

熊本県 阿弥陀寺 様

長野県 山本 隆太 様



内愚外賢

～賢者の信を聞きて、愚禿が心を顕す～

表紙の写真、ツブヤITTERにもある通り、先日、新潟県出雲崎町にある高橋さんの自坊まで行ってきました。初めて下りる長岡駅、そして初めて行く出雲崎、そして親鸞聖人が流罪の際に上陸された居多ヶ浜と、初めてづくしの2日間でした。

親鸞聖人は800年前、35歳の時この地にたどり着いたとされています。比叡山とは違い、生きる為に必死で生活しておられる方を見て驚かれたでしょう。豊かになると当たり前を見失う。そんなことを思わされた新潟の旅でした。潮風に当たり過ぎたのか、翌日から風邪を引いてしまいました・・・。



居多ヶ浜・親鸞聖人御上陸之地碑

(編集長 仲井 真裕 記)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。



saitokuji@ce.wakwak.com



http://saitokuji.tobihiro.jp/



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook

「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせてください。